

(1) これまでの取り組みと今後のスケジュール

| No. | 主な御意見等 | 回答・対応 |
|-----|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 人が集まる施設において、耐震工事を重くとらえる必要があることから、耐震工事ができていない店舗を優先的に統廃合の対象として進めてきました。 対象施設の中で、耐震工事がされていないものがどのくらいあったのか、また、その内容が反映されて、今後の方針が決まっているのかを教えてください。 | <ul style="list-style-type: none"> 事務局でも、公共施設は利用される市民の方々がおりますので、安全性の確保が最優先の課題と考えています。 耐震性が無いことが判明している施設もあれば、旧耐震基準の建物で耐震の確認が未実施の施設もあります。昨年度検討対象の10施設については、耐震状況を踏まえ方針を定めており、現在検討中の施設も同様に方針を協議していきたいと考えています。(資料2-2に耐震状況を掲載しました) |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 類型別方向性の検討に際し、市のあるべき姿について、中心市街地区域が将来、人口減少したとしても、交通インフラの充実など条件を整え、居住地から人が集まる活力と魅力あるさまざまな機能の充実を図るなどといった、イメージを持っているのでしょうか。 スケジュールでは、来年の3月ごろのアンケートや説明会等で市民に理解を求めることとなっていますが、施設(市民の財産)がなくなる地域の反応はそう容易に納得できることも思えません。きめ細やかな市主催の中学校区の意見交換会、市民・団体からの出前教室などでの説明会、さまざまな手法で周知し、地域住民参画を徹底して対応することが重要だと思います。 | <ul style="list-style-type: none"> 市のあるべき姿については、第9次総合計画を策定し、その方向性を示しています。その上で、公共施設については、人口の減少と、人口割合の高齢化だけでなく、各中学校区ごとの人口の推移も踏まえ、公共施設等総合管理計画の中では、2055年に30%の床面積の削減を目標としています。ただし、削減したからといって市民サービスの質を落とすのではなく、複合化や民営化などにより多様なニーズを捉え、質の維持・向上を図っていきたいと考えています。 令和6年3月ごろから予定しているアンケートや説明会では、総合管理計画に掲げる総量削減の考え方や、類型別の方向性についてご案内する予定です。今後、計画策定に係るパブリックコメントやホームページでの周知のほか、個別の施設の方針に対する説明会の開催等、丁寧な説明・周知に努めていきます。 |

(2) 類型別方向性の検討

| No. | 主な御意見等 | 回答・対応 |
|-----|--|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館の、学習室や会議室の稼働率を見ても空いている時間帯はあると思うので、将来世代へのアンケートにある勉強できる場所が欲しいという意見に対して、空きが分かるような状況であれば学習室等を開放してもらい、子供たちが勉強できるスペースを少しずつでも確保するのではないかと思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・若年・将来世代のアンケートでは、勉強、あるいはスポーツできる場所の要望がありました。地区公民館については、図書館分館、あるいは図書コーナーで、勉強のほか、送迎の待合場所として使われているような状況です。ニーズも今回把握できましたので、今後、多目的・多機能化の検討では、そういった視点も踏まえて検討をしていきたいと考えています。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・判断するにあたって、地域性、年齢層の分類がないと、地区毎に立地している公民館へ機能が整っていれば他の施設はなくなってもいいという判断が難しいです。被っている施設、利用者、年齢層の一覧みたいなものを出していただくと、判断がしやすいと思います。 ・生涯学習館と勤労青少年ホームの例では、同じ地区に立地しており、一中地区コミュニティセンターと統合した施設であればよりよい施設ができるだろうし、亀城プラザの有する会議室を活用するという考え方もあるため、統合するにあたっては、エリアごとに検討するという考え方があると思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区ごとにニーズの違いはあるかと思いますが、今回はサービス類型ごとにどういう状況かを示したものです。 ・今後、地区別の検討を踏まえ、施設単体の方針や、集約複合化が可能か等の議論を進めていく予定です。(資料2-2に地区ごとの施設の立地状況、年齢別人口割合のほか、類型毎の利用圏域を取りまとめました) |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等の集会施設の検討にあたり、中学校区の枠を超えたような統廃合の検討もありうるのでしょうか。それとも、必ず中学校区ごとに必要と考えないといけないのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公民館はその地区の集会施設として必要と考えますが、必ずしも中学校区ごとに残すということではなく、将来的な人口を考えた場合に、もう少し統合してもいいのではないかという意見が出てくる可能性はあります。その場合、各地区には公民館以外の施設もあるため、そういった機能と役割分担を踏まえて整理を検討していきたいと考えています。 |

| No. | 主な御意見等 | 回答・対応 |
|-----|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・将来20年後の人口減少を踏まえた中長期の利用状況、コスト等の推定データの提示は可能でしょうか。 <p>中学校区別の人口動態差がデータで見えれば、市民にも説得力が生まれ、小・中学校区を超えた再編・再配置の見直しも可能だと思います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ご提案いただいた指標の中で、対象施設数の変動や価格上昇等の複合的な要因による影響を勘案すると、人口推計による比較を行うのが最も適切であると考えられます。(資料2-2に計画期間内の中学校区別・年齢別の人口推計を整理しました) |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・市の考えは、人口減少地域と建物の老朽化等の要因に対し、地区近辺のコミュニティ、公民館を中心にする方向性で大体決まっているように思います。 <p>老朽化や災害によって、施設を利用する地域住民が怪我をする、亡くなる危険性を考えるのが一番大事だと感じています。地域性と時代に応じた建物を建てていくのは仕方ないと思います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・一番大事な点が、市民の方々の安全確保と考えているため、昨年度の策定委員会でも、委員の皆様から耐震性の観点からの意見を頂き、利便性が低下しないような検証の上、閉館の方針を示した施設があります。ただし、施設や地区ごとに状況が異なりますので、本委員会や市民アンケート、説明会でのご意見を頂戴しながら進めていきたいと考えています。 |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・廃止する施設を類型内で検討し、代替機能の確保または集約・複合化を検討するという流れは、市民感覚としてはやりにくいと思いました。行政管轄区分を超えて、地区別にみる方がよい施設、全域でサービスの内容や対象ごとに考えるべき施設で整理し直した上で、地区の中で用意したいサービスを提供する場としてどの施設に集約・複合化できるか、市全域でみた時に一緒になっているとよいものが何か、というように、サービスを使う市民の利便性から施設の統廃合を考える方が、市民の皆さんにとってはわかりやすく、また集約・複合のアイデアを出しやすいと感じました。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回は地区に関係なく、提供しているサービスで括って、そのサービスの量が間に合っているのか、或いは足りないのかという全体の状況をご理解いただきたく、このような提示を行いました。 <p>今後、集約・複合化を検討する際は、類型別の視点に、地区別という横串の視点を交えて、議論を進めていきたいと考えています。</p> <p>また、資料2-2に、中学校区ごとに検討すべき施設なのか、或いは市内全域で検討すべき施設なのかといった、施設特性に応じた整理を行いました。</p> |

(3) 昨年度策定内容に基づく具体的な取組方針

| No. | 主な御意見等 | 回答・対応 |
|-----|---|--|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> 施設の統廃合においては、近隣施設に余裕枠がどれくらいあるかが重要だと思いますが、実際にどうなったかというのは是非モニタリングしておいていただきたいです。計算上は大丈夫かもしれないが、事前の想定通りうまく使ってもらえたのかどうかというのは、今後の計画を考えるときにも参考になると思います。 | <ul style="list-style-type: none"> 施設の廃止に伴う代替機能の提供については、事前の検証だけでなく、事後の評価を実施し、他施設の事例へ活用していきたいと考えています。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 対象施設の統廃合については、丁寧に検討していると思いました。療育支援センターの検討について、児童発達支援センターの整備予定と併せて候補地を本委員会で検討すると説明がありましたが、療育支援センターだけではなく、他の福祉や児童支援の施設の対象サービスも提示してもらえると、選定の参考になると思いました。 | <ul style="list-style-type: none"> 療育支援センターについては、昨年度策定した再編・再配置計画の中で、市民サービスの向上を図るという観点から、保健センターで実施している早期療育相談、ことばの教室と集約化し、児童発達支援センターにするという方向性を打ち出しています。児童発達支援センターの整備にあたっては、その対象サービスの提供状況を踏まえ、必要な機能等について所管課と協議し、その内容を本委員会にも説明の上、候補地の選定を進めていきたいと考えています。 |